

「年金破綻の心配ない」

細野氏の『世界一わかりやすい』講演

道金融広報委員会が主催する金融・経済講演会『世界一わかりやすい』金融経済の授業』が二十四日、旭川グランドホテルで開かれ

た。講師は Hosono's Super School 代表の細野真宏氏。

細野氏は将来破綻が懸念される年金について、「百



兆円もの年金積立金があることと、最近の出生率から予測して、それほど心配するものではない。問題は医療と介護で国の負担が増えることから、この分野での手だ

わかりやすく日本と世界の金融経済を解説する細野氏

てが必要になってくる。消費税アップが悪者のように言われているが、消費税は社会保障費に充てられることになっており、消費税が不公平税制とはいえない」などと持論を展開した。

また、国と地方公共団体が抱える国債残高八百兆円について、「個人の資金調達に千四百兆円あり、それが国債を買い支えているので、現状ではギリシャのように破綻する危機は少ない。だが今後経済が回復してくると、国債の金利を上げなければならなくなり、危機的状況も心配される」などと語った。

会場に集まった約百五十人の聴衆は熱心に細野氏の話に聞き入っていた。